

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 31 年 3 月 28 日	
所属部局・職	公益財団法人日本モンキーセンター 学術部 キュレーター
氏名	赤見理恵

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)																																																																																												
新潟県笹ヶ峰																																																																																												
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)																																																																																												
日本モンキーセンター 笹ヶ峰研修																																																																																												
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)																																																																																												
平成 31 年 3 月 16 日 ~ 平成 31 年 3 月 20 日 (5 日間)																																																																																												
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)																																																																																												
京都大学笹ヶ峰ヒュッテ 松沢教授、幸島教授、杉山特定准教授、福島特定助教																																																																																												
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)																																																																																												
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。																																																																																												
<p>笹ヶ峰ヒュッテでの研修は、JMC としては昨年 7 月に 2 名、9 月に 2 名が参加させていただき、今回は 3 回目の研修であった。しかし冬季の研修に参加させていただくのは今回が初めてだったため、過去の報告書を読んだり WRC の経験者から話を聞くなどして予習した。</p> <p>私自身は昨年 9 月の研修に参加させていただき、火打山登山(途中で下山)や山スキー講習などを経験するとともに、幸いにも笹ヶ峰牧場でニホンザルの群れを約 1 時間にわたり追跡・観察することができた。これらのことを雑誌「モンキー」に紹介し、「彼らは冬、どのように過ごしているのだろう」「次は冬の実習に参加してみたい」と書いた。幸運にも今回の冬の研修に参加させていただけることになり、とてもうれしい反面、今までほとんど観察されたことがないという冬のニホンザルの生息状況を知ることは難しいだろうと考えていた。</p> <p>しかし幸いにも 4 日目の黒沢への道中にニホンザルの足跡を発見し、帰路にはヒュッテからほど近い場所でニホンザルのうしろ姿を見ることができた。また 1 日目と 2 日目の夜間に降雪があり、新雪の上の動物の足跡をたくさん観察できた。日中は天気がよく、特に 3 日目の三田原山登山では、快晴の中、山頂からの眺望を楽しむことができた。天気にも幸運にも恵まれた研修であったと思う。</p> <p>主なスケジュールは右図のとおりであった。赤い部分が屋外での研修、青い部分が屋内での研修である。3 日目の三田原山登山はスキー組とわかん組に分かれて実施され、私はスキー組に参加した。その他はほぼ全員で同じ行程の実習であった。センサーカメラのみ自主的に設置したため、1 名もしくは同行者と 2 名で行動した。</p> <p>食事の準備や食事の時間にも、杉山先生をはじめみなさまからさまざまなことを教えていただくことができた。</p> <p>以下、写真とともに報告する。</p>																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3月16日</th> <th>3月17日</th> <th>3月18日</th> <th>3月19日</th> <th>3月20日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5:00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>起床</td> </tr> <tr> <td>6:00</td> <td></td> <td>起床</td> <td>起床</td> <td>起床</td> <td>センサーカメラ回収</td> </tr> <tr> <td>7:00</td> <td></td> <td>朝食</td> <td>朝食</td> <td>朝食</td> <td>朝食</td> </tr> <tr> <td>8:00</td> <td></td> <td rowspan="4">移動</td> <td rowspan="4">スキーにて 三田原山登山</td> <td rowspan="4">スキーにて 黒沢へ ニホンザル発見</td> <td>反省会</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>ヒュッテ清掃</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>スキーで下山</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>荷物発送</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td></td> <td>昼食準備</td> <td></td> <td></td> <td>温泉</td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td></td> <td>昼食</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14:00</td> <td></td> <td rowspan="2">イグルー作り</td> <td rowspan="2">センサーカメラ移動</td> <td rowspan="2">フリータイム</td> <td rowspan="6">各自帰路へ</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>荷物搬入</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>センサーカメラ設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17:00</td> <td>夕食準備</td> <td>夕食準備</td> <td>夕食準備</td> <td>夕食準備</td> </tr> <tr> <td>18:00</td> <td>夕食</td> <td>夕食</td> <td>夕食</td> <td>夕食</td> </tr> <tr> <td>19:00</td> <td>夕食片付け</td> <td>夕食片付け</td> <td>夕食片付け</td> <td>夕食片付け</td> </tr> <tr> <td>20:00</td> <td>ミーティング</td> <td>ミーティング</td> <td>ミーティング</td> <td>焚火</td> </tr> <tr> <td>21:00</td> <td>ミーティング</td> <td>ミーティング</td> <td>ミーティング</td> <td>焚火</td> </tr> <tr> <td>22:00</td> <td>就寝</td> <td>就寝</td> <td>就寝</td> <td>就寝</td> </tr> </tbody> </table>		3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	5:00					起床	6:00		起床	起床	起床	センサーカメラ回収	7:00		朝食	朝食	朝食	朝食	8:00		移動	スキーにて 三田原山登山	スキーにて 黒沢へ ニホンザル発見	反省会	9:00	ヒュッテ清掃	10:00	スキーで下山	11:00	荷物発送	12:00		昼食準備			温泉	13:00		昼食				14:00		イグルー作り	センサーカメラ移動	フリータイム	各自帰路へ	15:00	荷物搬入	16:00	センサーカメラ設置				17:00	夕食準備	夕食準備	夕食準備	夕食準備	18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	19:00	夕食片付け	夕食片付け	夕食片付け	夕食片付け	20:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	焚火	21:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	焚火	22:00	就寝	就寝	就寝	就寝
	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日																																																																																							
5:00					起床																																																																																							
6:00		起床	起床	起床	センサーカメラ回収																																																																																							
7:00		朝食	朝食	朝食	朝食																																																																																							
8:00		移動	スキーにて 三田原山登山	スキーにて 黒沢へ ニホンザル発見	反省会																																																																																							
9:00	ヒュッテ清掃																																																																																											
10:00	スキーで下山																																																																																											
11:00	荷物発送																																																																																											
12:00		昼食準備			温泉																																																																																							
13:00		昼食																																																																																										
14:00		イグルー作り	センサーカメラ移動	フリータイム	各自帰路へ																																																																																							
15:00	荷物搬入																																																																																											
16:00	センサーカメラ設置																																																																																											
17:00	夕食準備	夕食準備	夕食準備	夕食準備																																																																																								
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食																																																																																								
19:00	夕食片付け	夕食片付け	夕食片付け	夕食片付け																																																																																								
20:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	焚火																																																																																								
21:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	焚火																																																																																								
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝																																																																																								

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



妙高高原駅の観光案内所。
京都発組を待つ間、情報収集をした



妙高高原駅からのバスの車中



田端屋旅館で雪上車に荷物を
積み込み、いざヒュッテを目指す



ヒュッテ外観。約2mの雪に覆われ
秋と比べると別世界のよう



16名中女性が8名。全員で一番
奥の部屋に泊まった



3班に分かれてイグルー作り。
3班3様のイグルーができた



三田原山への登山。登っていくにつ
れてブナ林からカンバ林へ、そして
開けた雪原へと風景が変わっていく



三田原山山頂からの眺望。
なんと富士山まで見ることができた。



三田原山山頂から見た妙高山。
外輪山である三田原山からは、
稜線に出ないとみることができない



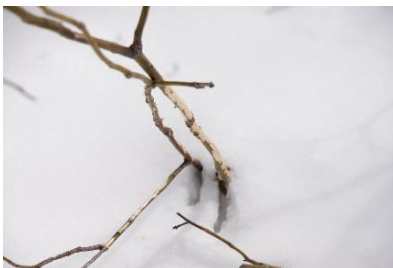
最初に見つけたフンと足跡。
1か月前の白山調査で見たばかり
で、ニホンザルだと確信できた



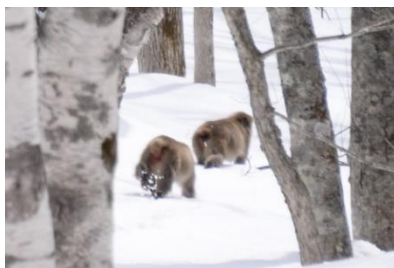
前後肢ともはっきりと5本の指が見え、
進行方向もわかる。明らかに小さい、
コドモの足跡も確認できた。



周囲には縦横無尽に足跡が。
同じ方向に移動している場所では、
群れの頭数も推定できる



ウリカワカエデの食痕



先頭を行く杉山先生がサルを発見。
すぐに追いつくうしろ姿を撮影できた



距離をとって振り向くニホンザル。
オトナメスだろうか

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



牧場の清水ヶ池で見たカモのなかま。飛び立たせてしまった



ヒュッテから見たキツネ。杉山先生が発見し、数名が見ることができた



黒沢からの帰路に見たノウサギ。猛烈なスピードで走り去った

■秋と冬の笹ヶ峰

今回の研修で実感したのは、なんといっても非積雪期との環境の違いだ。9月の研修で目にした牧場の柵がすべて雪に埋まり、標識や鳥居も手が届く高さだった。黒沢への往路では、秋に歩いた車道を横切っていたことにあとで気がつき、とても驚いた。道路や標識などの目印がほとんど雪の下に隠れてしまうため、周囲の地理を理解していなければ迷子になってしまう。ましてや変わりやすい山の天気、もし急な吹雪にあったら致命的だろう。今回は経験豊かな先生方と行動を共にしたので不安はなかったが、今後積雪期の山林で行動することがあれば、十分気を付けようと肝に銘じた。一方で積雪期には林床の草本類や低木も雪に埋もれてしまうため、スキーをはいていればとても歩きやすく、新雪の上は野生動物の痕跡も見つけやすい。足跡を見た動物はニホンザル、シカ、キツネ、ノウサギ（フンも多数）、タヌキ？、アナグマ？、ネズミ、リス？、フクロウ？など多岐にわたった。動物の足跡について資料を用意しておけばよかったと後悔したので、今後のために作成したい。

■スキーでの三田原山登山

自分の足であんなところまで行けるとは、思ってもみなかった。ヒュッテから遠くに見上げていた三田原山の山頂に、本当に立つことができた。まず驚いたのはシールの威力だ。急な斜面でもしっかりと雪をつかみ、滑り落ちない。秋の研修で学んだことを、身をもって体験することができた。次に驚いたのは、現役山岳部のみなさんの体力だ。特に登山後半は松沢所長のご指示で、山岳部のみなさんと齋藤さんと私が先発することとなった。それまでよりも早いペースで私は酸欠寸前だったが、先頭が一番体力がいるというのに息を切らすことなく登っていた。最後に驚いたのは、やはり山頂からの眺望だろう。雪底に気を付けながら山頂まで登ると、その向こうには妙高山のゴツゴツとした山肌が、とても近くに迫っていた。振り返れば白馬岳や鹿島槍など北アルプスの山々、黒姫山の向こうにはなんと富士山まで見ることができた。そんな眺望の中、まだ踏まれていない新雪を滑るのはとても気持ちが良かった。

■積雪期のニホンザルについて

昨年9月の研修では、牧場で30頭以上の群れ（1頭はテレメーターを装着していた）と、ヒュッテ前で2頭のハナレザルらしきオトナオスを観察した。非積雪期には他にも目撃例は多いと聞き、新潟県による「第二期新潟県ニホンザル管理計画」でも妙高の地域個体群として3群111～150頭の存在が推定されている。しかし積雪期については、過去の研修では一度も目撃されておらず、2015年—16年の年始年末に現役山岳部員が、県道が黒沢を渡る近辺で目撃したとの証言があるだけである（杉山先生による情報）。

今回幸運にも、積雪期の研修としては初めてニホンザルの足跡を発見し、最後にはニホンザルの姿をとらえることができた。きっかけは行列後方にいたLiu Jieさんが何かのフンを見つけ、すぐ後ろにいた私に声をかけてくれたことだった。フンの周囲の足跡に目をやると、白山調査で何度も見たニホンザルの足跡に違いなかった。行列最後尾の幸島先生が、チャンスがあるときにじっくり見るように促してくださり、3人で周囲の足跡をじっくり確認したあと、離れてしまった先頭集団に追いついた。足跡は行ったり来たりしつつも全体的に私たちと同じルートで移動しているようで、先頭集団が休憩していた足元にもたくさんの足跡が見つかり、全員で観察することができた。足跡の先にある木には食痕（ヤドリギ、ブナ、ウリハダカエデなど）を見るけることができ、サルたちの行動が目に浮かぶようだった。

一度黒沢の橋のところまで登ったあと、帰路はニホンザルの足跡を追いかけながら下山した。大好きなスキーで、サルたちの気配を感じながら森の中を進むというのは、とても幸せな時間だった。一度は足跡が尾根を越えてしまい追跡をあきらめたが、その先で杉山先生がニホンザルの群れを発見した。急いで追いつき、逃げていく数頭のニホンザルの姿をとらえることができた。深い冬毛につつまれた、美しいサルだった。私が見たのはメスらしきオトナ2頭と、2才くらいのコドモ1頭で、雪の上をころころと走るコドモはとてもかわいらしかった。

今後は日本モンキーセンターのさまざまな活動に、本研修で得た経験を活かしていきたい。

6. その他（特記事項など）

本研修は京都大学霊長類学・ワイルドライフ・リーディング大学院のご支援を受けて実施されました。研修中は松沢所長、幸島教授、杉山特定准教授、福島特定助教、参加者のみなさまにご指導いただき、有意義な研修となりました。厚く御礼申し上げます。また本研修の機会をくださった松沢所長、伊谷園長をはじめ、研修中の現場をフォローしてくれた日本モンキーセンターのスタッフに心より感謝申し上げます。